

FESTIVAL DE CANNES
2025 OFFICIAL SELECTION
CANNES PREMIERE

第78回
カンヌ国際映画祭
カンヌ・プレミア部門正式出品

アイドルが恋をすることは
罪なのか？

恋
愛
裁
判

A black and white photograph of a man in a suit, with the words "Love over Trial" written in large, yellow, cursive script across the image. The man is wearing a dark suit jacket over a light-colored shirt. The background is dark and out of focus. The text is written in a bold, cursive font, with "Love" on the top line and "over Trial" on the bottom line. The word "over" is smaller and positioned between "Love" and "Trial". The overall tone is dramatic and emotional.

齊藤京子 倉悠貴
仲村悠菜 小川未祐 今村美月 桜ひなの
唐田えりか 津田健次郎

企画・脚本・監督：深田晃司

共同脚本：三谷伸太郎 音楽：agehasprings

1.23 Fri

実際の裁判から生まれた「心」を縛るルールに迫る問題作



カンヌ国際映画祭「カンヌ・プレミア」部門正式出品、深田晃司監督最新作！ 実際の裁判から生まれた気鋭の問題作が、観る者の価値観を揺さぶり、前提を疑わせる

日本の現代社会においてアイドルは、時に大きな熱狂を生み出す存在でありながら、その裏側で人間らしい感情をルールで縛られる矛盾を抱えている。本作は、アイドルグループ「ハッピー☆ファンファーレ」のセンターを務める女性が「恋愛禁止ルール」を破ったことで裁判にかけられる物語を通じて、華やかな世界の裏側に潜む孤独や犠牲、そして自己を取り戻すための闘いを痛切なリアリティで描く。監督は国際的に評価される深田晃司。実際の裁判に着想を得て約10年を費やし、企画・脚本も手掛けた。主演は元・日向坂46の齊藤京子が映画初主演で、アイドルの内面的な葛藤をリアルに体现。深田監督は「齊藤さんとの出会いがなければこの映画は完成しなかった。絵空事でしかなかった脚本に全身全霊で血肉を与えてくれた齊藤さんに心から敬服しています」と絶賛。共演には倉悠貴、唐田えりか、津田健次郎ら実力派俳優陣が集結し、作品に深みを与える。



アイドルが「恋」をすることは「罪」なのか？

人気急上昇中のアイドルグループ「ハッピー☆ファンファーレ」でセンターを務める山岡真衣は、中学時代の同級生・間山敬と偶然再会し、恋に落ちる。アイドルとして背負う「恋愛禁止ルール」と、抑えきれない自身の感情との間で葛藤する真衣。しかし、ある事件をきっかけに、彼女は衝動的に敬のもとへと駆け寄る。その8カ月後、事態は一変。所属事務所から「恋愛禁止条項違反」で訴えられた真衣は、事務所社長の吉田光一、チーフマネージャーの矢吹早耶らによって、法廷で厳しく追及されることとなる。



1.23 FRI 彼女の選択が今、裁かれる——

renai-saiban.toho.co.jp/
#映画恋愛裁判

📷 @ren_ai_sai_ban
📺 happy_fanfare

劇場内での映画の
撮影・録音は厳禁です。
映画公開後には
www.eigaikan.org
0120-550058
©2023 TOHO GAKKO